



平成30年度……市長施政方針

2月20日(火)から開催された「平成30年第1回半田市議会定例会」の冒頭において、榊原市長が示した施政方針の内容を掲載します。

【問合わせ】 企画課 ☎84-0605

昨年は、市制80周年の年であり、はんだ山車まつりをはじめ、様々な行事を通じ、多くの皆さんとともに市制記念の節目の年をお祝いすることと、まちへの愛着も深まったものと感じております。

プレジデント社の雑誌、プレジデントウーマン2月号では、「出産・子育てに向く街ランキング」で北名古屋市、日進市に続き、愛知県内第3位と評価されました。

また、ブランド総合研究所による「第12回地域ブランド調査2017」においては、「居住意欲度、すなわち、住みたいと思っっている人の全国市町村ランキングが昨年の939位から327位に急上昇しました。

これまで続けてきたまちづくりと、それを多くの方々知っていたため、取り組みが少しずつ実を結んできた兆しであり、成果であると感じております。

私は、昨年6月の半田市長選挙におきまして、多くの市民の皆様からの暖かいご支援・ご支持を賜わり、3期目の市政を担わせていただくことになりました。この3期目には、1期目・2期目で蒔いた種を大きく育て、半田市のさらなる魅力向上に取り組みとともに、市民の皆様「住んで良かった」と実感いただけるよう努力してまいります。

重点分野である「防災・減災」、「教育・子育て」、「観光振興」を始めとした、平成30年度の主な取組をご紹介します。

防災・減災

地域の拠点施設となる避難所において、運営訓練に向き合う自主防災組織が増加してきています。関係機関とも連携し運営訓練を支援するとともに、情報や支援物資が集中する地域の避難所に対し、新たに移動系無線機の配備や、要配慮者への支援物資の計画的な備蓄を進めてまいります。

災害時には「命を守る」ことが最も肝要であります。そのために市民の皆さんが家庭での備えを一層行うとともに、早期の避難行動がとれるように、地域に入って減災活動を支援してまいります。

また、地震対策事業として、上池公民館始め4か所の防災拠点施設などに、**応急給水栓を設置**します。このことにより、計画していた市内49か所全ての施設に、**応急給水栓の整備**が完了します。

大規模造成宅地における地震による崩落の危険性を調査するため、**造成宅地地盤災害対策事業調査**を行います。

教育・子育て

乳幼児を育てるご家庭が地域で安心して子育てができるよう**青山児童センター**の地域子育て支援拠点事業について、支援体制と開設時間を**拡充・拡大**し、身近な地域での子育て支援体制を強化します。

また、日中、仕事等により保護者のいない家庭の児童に放課後の遊びや生活の場を提供する**放課後児童健全育成事業**について、市が保育料の一部を負担し、子育て家庭の経済的負担軽減を図ってまいります。

さらに、社会的課題として**クロージアアップ**されている貧困の連鎖を防止するため、引き続き**啓発活動**に努めるとともに、**ひとり親家庭**等の子どもを対象にした相談や学習支援を**充実**させ、次代を担う子どもたちの力を育みます。

保育室へのエアコンの整備につきましましては、保育園での整備に続き、31年度中に**公立幼稚園**で利用開始できるように設計を進めてまいります。

公立保育園等の施設老朽化に伴う整備に併せ、少子化、待機児童の解消、多様化する保育・教育ニーズに対応すべく、**民間事業者との連携**による民営化やこども園化を視野に入れた**施設更新計画**を31年度に策定することとしています。30年度においては、**ニーズに合った安心・安全で質の高い保育・教育環境の整備**を図